

ラゼフ語文法書

Qeftiļudj la Raqefeft

0. はじめに

このドキュメントは、作者の人工言語であるラゼフ語の公式資料になります。発音や文法範疇などの事項をまとめています。

ラゼフ語は筆者がメインで創作している人工言語です。現在と地続きの創作としては2023年の8月頃(中2の夏休み)、[ɹaðəf] という音声を神に聞いたことによって開始されました。作者自身のアイデンティティを言語として表現することを目的に製作されています。

基本データ		
言語名	日本語名	ラゼフ語
	漢字表記	瀬是語・瀬語
	英語名	Rathefian
	原語名	Raqefeft (Qeftj a Raqef)
CLAコード (v3)		~_rq_~_atr
モユネ分類		INT/ART/PHI/REA/GEN/SON/LIT/SER/TOL

関連リンク集

- [Discordサーバー](#) — みんなでラゼフ語についておしゃべりします
- [辞書 \(ZpDIC\)](#) — 辞書です

1. 文字と発音

1.1. 音素とアルファベット

音素としてカウントされるのは母音5個、子音25個。表記に使うのはダイアクリティカルマーク付き字母を含むラテン文字であり、オリジナルのラゼフ文字は構想段階である。

長母音や破擦音など、二つの音として分析できるものは二文字で書くのが原則である。

母音	前舌	後舌
狭	i /ɪ/	u /ʊ/
中	e /ɛ/	o /ɔ/
広	a /a/	

子音	唇音	歯音	歯茎音	後部歯茎音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
鼻音	m /m/		n /n/		ń /ɲ/		
破裂音	p b /p b/		t d /t d/		c y /c y/	k g /k g/	
破擦音			ts dz /ts dz/	tś dź /tś dź/			
摩擦音	f v /f v/	ć q /θ ć/	s z /s z/	ś ż /ʃ ʒ/	ç /ç/		h /h/
接近音					j /j/		
流音			l r /l r/		ł /ł/		

2. 統語論

2.1. 語順

V2語順を基本とする。文頭に来るのは最も強調したい要素で、強調を表す補意辞 -t のついた名詞句や強調したい連用詞・補述詞があればそれを置く。それ以外の場合は主格や於格の名詞がくるのが普通である。

修飾語は後置する。

2.2. 品詞

品詞	説明
名詞	文の中心として動詞の項となり、物や概念の名前を表す。
動詞	文の中心として動作(・状態)を表す。
修飾詞	他の語を修飾して意味をより詳しく説明する。
補述詞	他の語を修飾して機能的な属性を説明する。
情詞	発話する人にとっての感情(法)を示す。
接続詞	文や句、語同士をつなぐ役割をする。
前置詞	名詞句と結びついて他の語との関係を示す。
間投詞	挨拶・返答など、単独で発せられ感情などを表現する。

3. 名詞

この項は書きかけです。

4. 動詞

5. 修飾詞

修飾詞は名詞や動詞、他の修飾詞を修飾して意味をより詳しく説明する。一般的な品詞分類の形容詞・副詞にあたるが、ラゼフ語ではこれらを連体詞・連用詞と区別し、他の様々な形態と合わせて活用によって示す。

5.1. 形態

修飾詞は活用によって7つの形態になる。便宜的にいくつかの形態には品詞名が割り当てられている。

品詞	活用形	活用語尾	用法	例 : tel ("赤い")
連体詞	連体形	-i	名詞を修飾して説明する。	teli 赤い〇〇
	叙述形	-a	コピュラ文の補語として 主題を説明する。	tela 赤い
連用詞	連用形	-e	動詞や他の修飾詞を修飾して 説明する。	tele 赤く
名詞	事名詞形	-to	何かがその状態であること。	telto 赤いこと
	項名詞形	-tu	そのような状態にあるもの。	teltu 赤いもの
	状態形	-o	そのような状態。	telo 赤い状態
	指標形	-u	どれ位その状態であるかの指標。	telu 赤さ, 赤み

6. 補述詞

補述詞は動詞や修飾詞を補足して説明するという点では連用詞と同様だが、意味的に対応する連体詞のペアが存在しないなどの理由で機能的な語が分類されることが多い。

7. 接続詞

8. 前置詞

9. 間投詞

10. 資料

覚える必要はないメモや資料を残す。

10.1. 音の交替

10.1.1. 母音交替

接辞によってはくっつける際に音象徵に沿って最後の母音が交替することがあり、拡大交替と縮小交替の2つのパターンを示す。

タイプ	a	e	i	o	u
拡大	aa	ei	e	ou	o
縮小		i	ii		